

公営ガス事業100周年記念式典

当市のガス事業が大正7年10月に公営として事業を開始し、今年100周年を迎えたことから、記念式典及び記念講演会を開催しました。

【日時】平成30年10月1日(月)／14時から 【会場】デュオ・セレツソ

※本資料に掲載している内容および登壇者の所属・肩書きは、平成30年開催当時のものです。あらかじめご了承ください。

記念講演会

記念式典に先立ち、認知行動科学を専門とする大阪大学の七五三木(しめぎ)聡教授より、「火は心を動かす」というテーマで、失われつつある火の大切さについてご講演いただきました。

『不規則に姿を変える火のゆらめきは、私たちの想像力をかき立て、記憶や経験を呼び起こすものであり、火の利用によって人類は発達してきた。便利な社会の到来により火を忘れていくのではなく「暖かい、明るい、危ない、怖い」といった、火の持つ両義性を受け入れていくことが大切である。』と述べられました。



七五三木聡教授の講演の様子

記念講演会

村山秀幸市長の式辞に続き、ご来賓の方々からご祝辞をいただきました。

また、当市のガス事業の発展にご協力いただいた関係団体2者に感謝状を贈呈しました。

- ・上越市管工事業協同組合様 (ガス管の修繕や需要家の定期保安調査など維持管理業務に貢献)
- ・新潟サンリン株式会社様 (検針やガス料金の収納率向上など料金徴収業務に貢献)



市長の式辞



総務省自治財政局 大臣官房審議官
冲部 望 様



関東経済産業局 資源エネルギー環境部長
福島 伸一郎 様



感謝状贈呈の様子



日本ガス協会 地方支援担当理事
角田 憲司 様

次の100年を見据え、ご協力いただいた全ての方々に感謝するとともに、これからもお客さまに選ばれる公営企業を目指して、安全で安定した供給の確保に取り組んでまいります。